

【評価実施概要】

事業所番号	170503924		
法人名	有限会社 アイ		
事業所名	グループホーム澄川の丘		
所在地	〒005-0006 札幌市南区澄川6条7丁目1-1 (電話) 011-583-8181		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構 Kネット		
所在地	〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成22年2月9日	評価確定日	平成22年2月22日

【情報提供票より】(22年1月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3月 13日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算	1.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費20,000円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 500 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(1月20日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	2名	要介護 2	7名
要介護 3	6名	要介護 4	2名
要介護 5	1名	要支援 2	0名
年齢	平均 85.7 歳	最低 67 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	林下病院・愛全病院・小笠原クリニック札幌病院・なかさと歯科クリニック
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは眺望に恵まれた閑静な住宅街に位置している。敷地に隣接して栗林があり1階のウッドデッキからは戸外の自然を楽しむことができる。室内は利用者の快適さと安全、防災に配慮した造りになっている。リビングからの四季おりおりの景色や各所に飾られている絵画、書、小型セラピー犬は心を和ませてくれる。利用者の表情は穏やかで安心して生活している様子が窺える。職員は明るく利用者に接しており家族の信頼は厚い。デイサービスを併設しており、家族や地域の人々の訪問は多く、介護保険や福祉利用について相談を受ける等地域に開かれている。常にサービスの質の向上をめざしており、これからも期待されているホームである。

	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題はない。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価・外部評価の意義や目的を理解しており自己評価は全職員で取り組んでいる。評価は日頃のサービスの見直しを行なう機会と捉えサービスの質の向上に活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に1度定期的に開催され記録している。包括支援センター職員、町内会役員、家族、施設長、管理者、職員等が参加し、ホーム運営状況、行事、防災、事故報告、健康管理等について報告し討議されている。会議で話し合われた内容はホーム運営やサービス向上に活かされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族訪問時には希望や意見を聴くように努めており、「事業所通信」等で生活状況を報告している。玄関には意見箱を設置し、入居時には苦情受付の外部機関について案内している。運営推進会議への参加を全家族に周知し多数の出席があり、会議で話し合われた意見や要望はホーム運営に反映するよう取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、行事や清掃活動に参加している。「事業所通信」を地域に回覧している。地域の中学生体験学習、高校生による音楽演奏、合唱、ちぎり絵等の活発なボランティア活動を受け入れている。ホーム主催の夏祭りには多くの地域住民が参加している。地域の人々から介護保険や福祉利用について相談を受ける等地域との連携は深い。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解し「住み慣れた地域でその人らしく安心した生活」を支援する為の独自の事業所理念を策定している。各ユニット毎にも理念を作成しサービス支援の目標としている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム玄関に掲示している。理念は朝のミーティングや毎日の申し送り時に読み上げ確認し共有をはかり、理念に基づいたケアの実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会行事や清掃活動に参加している。事業所通信「澄川の風」を地域に回覧しており、ホーム主催の夏祭りには多数の地域住民の参加がある。中学生体験学習、高校生や住民の活発なボランティア活動を受け入れている。近隣の人々から介護保険や福祉関係利用の相談を受ける等地域との連携は深い。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価実施の意義を理解しており、自己評価は全職員が参加している。評価は日頃のサービス内容の検証ともなり、評価結果を踏まえ話し合い、具体的な改善に取り組んでいる。評価結果はファイルしてホーム内に掲示している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月毎定期的に開催し記録している。包括支援センター職員、家族、町内会役員、施設長、職員等が参加している。ホーム運営内容、行事、事故報告、評価への取り組み状況等が報告され、討議されている。会議で意見交換された内容はサービス向上に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市、区の管理者会議が定期的に行なわれており毎回出席している。行政の担当課とは常に情報交換しており行政と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>事業所通信「澄川の風」を発行しホームの暮らし振りや行事、職員異動について報告している。家族訪問時には近況を伝え、金銭管理について報告し確認をとっている。利用者の日頃の様子や行事写真をテレビ映像で観てもらい好評を得ている。来訪の少ない家族には電話や手紙による連絡を行なっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃から面会時にコミュニケーションをとり意見や要望を聴いている。意見箱を玄関に設置しており、入居時には外部への苦情相談窓口を案内している。運営推進会議には多数の家族参加がみられ、会議で話し合われた意見は運営に反映するように行なっている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>現在ホーム内の異動はない。離職者も少なく安定しており職員と利用者は馴染みの関係にある。新職員が加わった場合はリーダーが指導援助に努め、業務やケアに慣れる迄日中は4人、夜間は2人体制をとる等利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
関係					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修は2ヶ月に1度定期的に行っている。外部研修については運営者は交通費や参加費、研修中の賃金を支給する等便宜をはかり積極的に参加するようすすめている。受講後は研修内容を施設内勉強会で発表し全職員で共有するようはかっている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主催の管理者連絡会議や区の管理者会議、計画作成者の集いに参加し情報交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。グループホーム間では相互訪問を行い経験交流を図りケアの実践に活かしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービス開始前に職員は利用者や家族と面談し、ホーム見学をしてもらう等の配慮をしている。併設のデイサービス利用やホーム行事見学などで徐々に雰囲気に馴染み、安心して利用できるように家族と相談しながら行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者を人生の先輩として尊敬し喜びや哀しみの感情を共にしながら一緒に過ごしている。過去の生活歴や得意なことを把握し場面設定に工夫し能力を発揮してもらい、互いに学び支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日頃から一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努めている。把握困難な場合は家族や関係者から情報を得るように努め、できるだけ利用者の希望する生活に近づけるようになっている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は本人、家族の意向を尊重したうえで、関係者と情報交換し、計画作成担当者を中心にして全職員で話し合いをもって行なっている。カンファレンス等で検討を重ねたうえで、より良く暮らす為の利用者本位の介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は定期的に見直しを行なっている。心身状態に変化が生じた場合は本人、家族、医師、関係者、職員が話し合いをもち、状況に応じ臨機応変に現状に即した新たな介護計画を作成している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族の状況に応じてかかりつけ医への送迎支援を行なっている。併設のデイサービス機能の利用、家族の宿泊、利用者個々の外出、買い物など事業所の多機能性を活かして柔軟な支援を行なっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関医師による訪問診療が月2回、看護師によるバイタルチェックが毎日ある。利用者希望のかかりつけ医には通院支援を行ない、常に利用者が納得の得られる適切な医療が受けられるように支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「重度化した場合の対応に係わる指針」を文書で作成し入居時に本人、家族の意思を確認している。医師、看護師とは24時間体制で連絡できる体制を整えているが、状態に変化が生じた場合は家族、医師、看護師、職員と事業所が対応し得る最大のケアについて話し合い全員で方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は一人ひとりの誇りを傷つけないよう言動に配慮している。記録などの個人情報書類は外部から見えない部屋に保管し、名前の印刷してある紙等の処理にも注意している。利用者の尊厳を大切にケアを行ない、プライバシーの確保を徹底している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ホームとしての基本的な流れはあるが、一人ひとりの希望やペースを大切にして暮らせるように支援している。買い物、外出、入浴など可能な限り希望に沿えるよう事業所全体で協力し合い対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日頃の会話から利用者の好みを把握し献立と一緒に考えたり、買い物に出かけたりしている。調理の下ごしらえ、味付け、後片付け等負担にならない範囲で共に行なっている。職員と共にテーブルを囲み談笑しながらの食事は1日の楽しみとなっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は曜日、時間の制限はなく、利用者の希望やペースに合わせて行なっている。併設サービスの檜風呂の利用もでき、各ユニットの浴室からは眺望も楽しめる。安全な浴槽利用の為にリフト浴も可能なように設備されている。		
な					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の力や生活歴、興味に応じて役割や楽しみごとがあるように場面設定し支援している。調理の下ごしらえ、味付け、菜園作り、ちぎり絵、パッチワーク製作、セラピー犬の世話等がある。ホーム主催の行事や音楽鑑賞、行楽、ドライブ等も楽しみとなっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望に沿って散歩や買い物、外食等の外出支援をしている。隣接する栗林を散歩したり、ホームの庭やウッドデッキで寛ぐ等できるだけ戸外の空気に触れるよう配慮している。季節に合わせて郊外に出かけるホーム行事も行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけないケアを実施している。入り口ドアに鈴をつけ、利用者の動きを察知しそれとなく声をかける等安全に配慮しながら行なっている。夜間は外部からの侵入防止の為に施錠している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回防災・避難訓練を消防署協力のもと実施している。消防署やセコムへの自動通報システムを設備しておりスプリンクラーが設置されている。各ユニットにパッケージ型消火栓を設備し職員による自衛消防訓練を実施している。地域の人々への協力も働きかけている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分摂取量は一人ひとり記録して全職員が確認している。過不足した場合、咀嚼、嚥下状態に問題ある場合、療養食など個々の身体状況に配慮して工夫している。栄養バランス等栄養士による確認もなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は明るく窓からは四季折々の景色を楽しむことができる。各所に手摺が効果的に設置され車椅子対応のトイレの数も多い。各ユニットに寛ぎの部屋があり利用者や家族が多目的に利用することができる。利用者手作りの手芸作品や絵画、季節感のある飾り物が置かれ居心地良く過ごせるよう工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い馴れた家具や調度品、仏壇などが持ち込まれ、好みの飾り物や写真が飾られている。収納スペースも十分あり、室内は清潔で整頓されており、採光、温湿度、換気等も適切である。		

 は、重点項目。